



〒663-8558 西宮市池開町6-46  
武庫川女子大学言語文化研究所  
TEL 0798(45)3536  
FAX 0798(45)3574

## 新聞第一面の語彙

昨年発行の『LC りぽーと Vol.8』では、1997年の新聞社会面（いわゆる三面記事）に出現した漢字についての漢字調査の結果を報告しました。その結果は、重油流出事故や石油卸商にかかわる事件に関する「油」、また、神戸の児童連続殺傷事件の容疑者が少年であったための「少」など、社会面で大きく取り上げられた事件が漢字に反映されていました。

今回の調査対象は同じく1997年の新聞ですが、第一面のデータです。その語彙調査の結果について中間報告をします。

### ◆調査の方法

朝日、毎日、読売の新聞3紙（各大阪本社発行）の第一面について、1997年1月～12月の休刊日を除くすべての日の朝刊から、各5文を無作為抽出した。そのデータをテキストデータとして入力し、プログラム処理によって、使われている語彙を調べた。自立語だけを対象とし、助詞、助動詞は含めない。語彙は短単位データである。

データは、353日分で5,295の文である。そこに含まれる語彙は次の通りであった。

延べ：125,725語

異なり：11,766語

### ◆語彙表

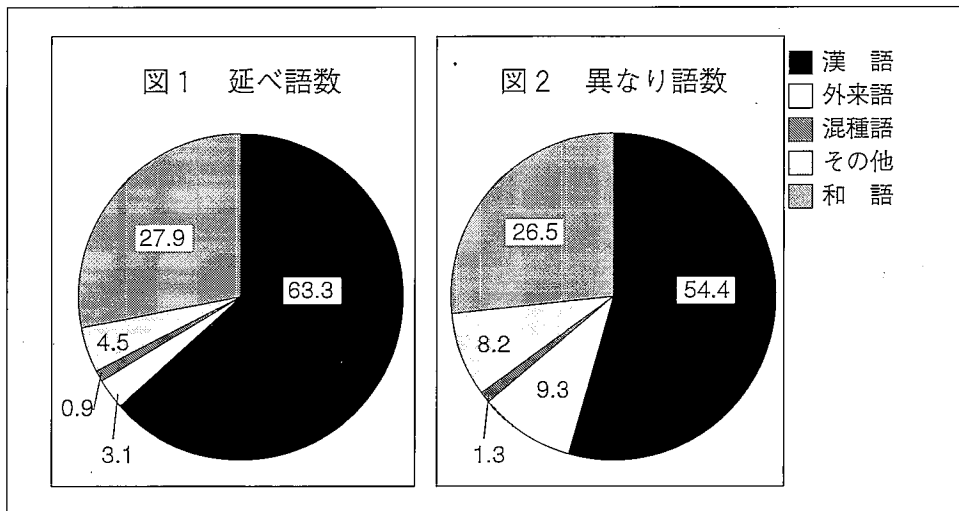
出現度数の多い語彙から順に並べたものが表1である。複数の読みが可能な語彙にはできるだけ読みをつけるようにし、漢語は片仮名、和語は平仮名で示している。語種については、和語（W）、漢語（K）、外来語（G）、混種語（M）及びその他（-）の5分類とし、その他は「日本国内の地名・人名等の固有名詞及びアラビア数字」に限った。したがって、固有名詞でも「パリ」「ダイアナ」などは外来語として扱い、漢数字の「一」～「十」については漢語と認定した。出現率はパーミルで表す。

表 1

順位	語彙	語種	度数	%	順位	語彙	語種	度数	%
1	する	W	6,418	51.0	51	化	K	247	2.0
2	いる	W	2,081	16.6	52	時(ジ)	K	246	2.0
3	日(ニチ)	K	1,021	8.1	53	その	W	244	1.9
4	こと	W	957	7.6	54	側	W	243	1.9
5	一	K	904	7.2	55	總會	K	236	1.9
6	年(ネン)	K	893	7.1	56	府	K	230	1.8
7	ある	W	726	5.8	57	捜査	K	227	1.8
8	なる	W	716	5.7	58	東京	—	222	1.8
9	者	K	681	5.4	58	利益	K	222	1.8
10	九	K	673	5.4	60	事業	K	219	1.7
11	二	K	642	5.1	61	会社	K	216	1.7
12	人(ニン)	K	614	4.9	62	もの	W	214	1.7
13	五	K	575	4.6	63	方針	K	210	1.7
14	十	K	570	4.5	64	後(のち/あと)	W	208	1.7
15	日本	K	550	4.4	65	みる	W	207	1.6
16	的	K	533	4.2	66	委員	K	200	1.6
17	四	K	530	4.2	67	改革	K	199	1.6
18	円	K	482	3.8	68	分	K	197	1.6
19	三	K	471	3.7	69	会議	K	196	1.6
20	いう	W	449	3.6	69	社	K	196	1.6
21	六	K	440	3.5	71	保険	K	194	1.5
22	よる	W	439	3.5	72	首相	K	191	1.5
23	二十	K	413	3.3	72	性	K	191	1.5
24	ため	W	407	3.2	74	くる	W	190	1.5
25	市	K	377	3.0	75	おり	W	187	1.5
26	月(ガツ)	K	367	2.9	75	受ける	W	187	1.5
27	1	—	363	2.9	77	取引	W	182	1.4
28	会	K	362	2.9	78	大(ダイ)	K	180	1.4
29	証券	K	352	2.8	79	できる	W	178	1.4
29	省	K	352	2.8	80	後(ゴ)	K	175	1.4
31	容疑	K	344	2.7	80	金融	K	175	1.4
32	事件	K	333	2.6	82	調査	K	174	1.4
32	八	K	333	2.6	83	銀行	K	173	1.4
34	七	K	327	2.6	84	これ	W	171	1.4
35	日(か)	W	319	2.5	85	求める	W	167	1.3
35	約	K	319	2.5	86	区	K	165	1.3
37	同	K	310	2.5	87	案	K	164	1.3
38	億	K	309	2.5	87	供与	K	164	1.3
39	党	K	302	2.4	89	代表	K	163	1.3
40	部	K	299	2.4	89	屋(ヤ)	W	163	1.3
41	この	W	296	2.4	89	間(カン)	K	163	1.3
42	県	K	286	2.3	92	午後	K	162	1.3
43	政府	K	283	2.3	92	第	K	162	1.3
44	問題	K	279	2.2	94	示す	W	161	1.3
44	ら	W	279	2.2	95	元	W	160	1.3
46	2	—	278	2.2	95	報告	K	160	1.3
47	対する	M	273	2.2	95	本部	K	160	1.3
48	大阪	—	264	2.1	98	所	K	157	1.2
49	国(コク)	K	256	2.0	98	長	K	157	1.2
50	関係	K	253	2.0	100	朝鮮	K	155	1.2

表1では、紙面の都合上100位までを掲げた。最も多かったのは「する」で、それに「いる、日（ニチ）、こと、一」と続く。これらは、新聞の語彙調査なら常に上位を占める語彙である。今回調査の特徴的な語彙と思われるものとしては、29位の「証券」、55位の「総会」、58位の「利益」、87位の「供与」、そして89位の「代表」「屋」などが挙げられよう。これらは証券会社が総会屋に利益供与をしていた事件に関するものである。また、省（29位）、党（39位）、政府（43位）、首相（72位）、金融（80位）、銀行（83位）などは政治・経済にかかわる語彙であり、第一面の特色を表している。東京（58位）より、大阪（48位）の方が上位に入っているのは、大阪本社発行の新聞ということで、地元に関連する記事の多さが影響していると考えられる。

◆ 語種別使用率



語彙の語種別比率を示したものが図1、2である。図1が延べ語数、図2が異なり語数である。

ここで、まず注意を引くのは、漢語の使用率の高さである。延べも異なりも、和語に比べて2倍以上になっている。

過去の調査、例えば、国立国語研究所の雑誌調査（※）では、異なりでは和語（36.7%）より漢語（47.5%）の方が高いが、延べでは逆転して、和語が53.9%で漢語が41.3%である。それと比べてみても、今回の調査では漢語の使用率が非常に高いことが大きな特徴であるといえよう。

（※）国立国語研究所報告25『現代雑誌九十種の用語用字 第三分冊 分析』（秀英出版、1964年）

次に、外来語は延べ語数3.1%、異なり語数9.3%であった。一番多く使用された外来語が「グループ」(147位/度数112)で、「パーセント (%)」、「アジア」と続いている。先の雑誌調査(41年前のデータ)では、延べ2.9%、異なり9.8%であるから、当時とさほど大きな差はない。この二、三十年、外来語が大きく増加しているだろうという一般的な推測は、第一面に関してはあてはまりにくいようである。

その他は先にも述べたように「日本の固有名詞及びアラビア数字」である。調査時では、毎日が日時、年齢、数量などをすべてアラビア数字で表しているのに対し、朝日と読売はそれらを漢数字で表している。この毎日の表記方式は近年のやり方であり、以前ならばもっと漢数字が多かったことになり、それに応じて漢語の比率がさらに高くなっていたと考えられる。それはともかく、新聞における数字の重要さは大きく、表1で、アラビア数字と漢数字を合わせると、50位までに13語も占めている。

◆外来語とその他

最後に、外来語とその他について度数の高い上位20語を示しておく。( )内は全体の順位である。

〈外来語〉		〈その他〉	
1 グループ(147)	11 ガス(633)	1 1 (27)	11 京都(218)
2 %(165)	12 テレビ(633)	2 2 (46)	12 6 (224)
3 アジア(299)	13 ケース(694)	3 大阪(48)	13 7 (228)
4 メートル(332)	14 ガイドライン(736)	4 東京(58)	14 野村(240)
5 ロシア(354)	15 ホテル(736)	5 小池(109)	15 8 (253)
6 ペルー(380)	16 ウラン(814)	6 3 (125)	16 橋本(259)
7 キロ(401)	17 カンボジア(818)	7 4 (128)	17 須磨(263)
8 ドル(420)	18 ホーム(918)	8 神戸(134)	18 0 (285)
9 システム(457)	19 レベル(918)	9 5 (157)	19 兵庫(293)
10 センター(505)	20 エネルギー(1022)	10 9 (218)	20 沖縄(304)

外来語では基本的でなじみの深い語彙が上位に入っている。

その他では当時の首相の名(橋本)より、世間を騒がせた人物の名(小池)の方が上位にランクインしているのが興味深い。また、神戸市須磨区での児童連続殺傷事件は、関西地方の事件ということもあってか、第一面で頻繁に取り上げられている。

あとがき ----- 1999.Feb.

今回の結果は中間報告であり、大まかな点は間違いありませんが、細かい数値については、まだ修正すべきものがあることを申し添えておきます。

[担当] 佐竹秀雄・岸本千秋